

第50回通常総会簡易議案書



日時 令和8年6月5日（金） 15時40分 ～

会場 ホテルグリーンタワー幕張
千葉県美浜区ひび野2-10-3 電話 043 (296) 1122

公益社団法人 千葉西法人会

〒262-0031 千葉県花見川区武石町2丁目612番地16

TEL 043-272-8567 FAX 043-216-2241

E-mail info@chibanishi.or.jp

URL [https:// www.chibanishi.or.jp](https://www.chibanishi.or.jp)

令和7年度事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

I 総括的概要

日銀展望に依れば、我が国経済は、年間を通し所得から支出への循環による緩やかな成長にあったとはいえ、人手不足、物価上昇の問題は大きく、一方、世界情勢は、相互間税問題に始まり、年度末のイランへ攻撃等、大きく米国動向に左右された1年であった。

本年度、本会では、コロナ後の通常体制に戻る中、管理面での合理化も図りつつ、本部・ブロック・部会単位で計画した事業を概ね計画通り進めることができた。厳しい環境下でも、業務改善への努力を通して、「会員への支援」と「公益の高揚」への両目標達成と更にその拡大を目指すべく、以下の事業展開を行った。

II 運営組織別の事業概要と今後の課題

1. 総務委員会関係

コロナ禍での事業停滞への挽回は完了し、従来通りの「収支相償」の基本に戻す命題を基に活動した。原則各事業への参加費は@千円程度引き上げ、会議体の統合や一部日中実施も進め、ブロック会計管理の本部一括化を初め、業務合理化にも努めた。

本部、ブロック、部会関係では、各会議をはじめ、その他事業も順調に開催され、それぞれで新たな工夫も見られたが、事業によっては、参加人数等について、今後のテーマとして検討すべき面もある。法人会活動の基盤ともなる支部活動は、役員改選で新支部長誕生等により、更に活性化が進んだものの、一方で、予算有効活用の方では尚、跛行性が残る結果となっている。

なお、本年度は、計画通りに法人会会館外装工事を実施し、今後の工事費引当については、物価高騰面も考量し、見直しを検討した。また、公益法人制度改定に伴い、新たに「外部理事」「外部監事」の選任が義務付けられたことに対応し、本年度総会での選任準備を進めた。

2. 組織委員会関係

会員の拡大を使命とする組織委員会は、「退会防止」と「未入会先への勧奨強化」を中心に、ブロック・支部役員会、協力保険会社との連携会議等を通し、また地域金融機関への協力要請も行う等多くの機会を利用して、幅広く仲間作り拡大を推進した。県連が主導する①9月～12月の「法人会員増強運動」、②年間ベースでの「法人会員数増加運動」の2目標については、①は達成したものの②は今後のテーマとして残る結果となった。

厚生委員会、広報委員会の協力で開始された「会員交流クーポン」制度等、入会動機を高める工夫も積極的に取り入れつつ、本運動への役員全員の参加意識高揚も更に図る中、法人会組織の必要性をより強く訴えて参りたい。

3. 税制委員会関係

税制委員会では、地域企業を支援する税制を目指し、本年度も春に、役員・税制委員を対象に、税制改正に伴うアンケート調査を実施した。これを基に県連・全法連での協議を経て策定された新年度への「税制改正提言」が、秋の法人会全国大会(高知大会)で発表された。その後、本会では、この『令和8年度の税制改正に関する提言書』を10月以降、会長・副会長が分担して直接、地元選出国會議員や管轄の3市長に届け、同時に本会の活動報告を行う等の広報活動にも注力した。具体的には、最近の本会での好評な事業の紹介を行ったり、企業経営者である会員の声を伝え、一方で行政側の施策やテーマを聴く等相互の情報共有に努めた。

4. 広報委員会関係

本年度も年8回、委員会を開催し、年間4号、季刊としての「広報誌」を発行した。毎回の委員会では記事構成や内容を議論し、また発刊日、ページ数を厳守し、一定コストの中で、会員や一般購読者への魅力的な情報提供に努めた。詳細な内容やより多くの写真記事は別途、WEB版を積極的に利用し、その為の二次元コード利用も強化し、時には動画提供等により、読者への訴求力アップにも注力した。実施済事業の報告記事だけでなく、会員からの投稿やインタビューによる会員紹介記事の掲載も毎号継続し、「まずは手に持って開いて頂ける広報誌作り」を合言葉に、表紙やカラーページの使い方も工夫を重ねた。

もう一方の広報ツールである「ホームページ」は、トップページに配した「千葉西法人会からのお知らせ」や「千葉西税務署からのお知らせ」での開催予定事業案内や税務情報のスピーディーな提供に努め、本会の事業カレンダーや会員企業検索バナー等のデータ更新を進め、提供情報の新鮮化を進めることができた。

5. 研修委員会関係

本年度6月の研修テーマ「年収の壁問題」については、署の全面協力の下、全ブロックでの説明会を実施。110名が参加した。

署との共催事業、「決算法人・新設法人説明会」は、Zoom配信をリモート実施に切り替え合理化を進める一方、会場参加は定員枠を広げ、年間158名が利用した。

また、本年度の「法人会フォーラム」は、委員会で選定した、脳科学者/茂木健一郎氏に、「いくつになっても脳は若返る」の演題で講演願ひ、開催3週間前時点で満席となる人気であった。参加者は、近年最高の336名。

主に会員向け利用としている「インターネットセミナー」(一部、公開講座は非会員も視聴可)は、手軽な利用方法と新コンテンツの増加が好評を博している。

6. 厚生委員会関係

主たるブロック会員交流事業である「ナイター観戦」「管外研修会」は本年度、全ブロックで計画通り実施された。隔年実施している「全ブロック合同交流ゴルフ大会」は81名の参加を得て開催された。女性部会は久々に宿泊研修で、全国女性フォーラム(女性部会の全国大会)に合わせて、札幌、旭川を訪問した。千葉西ブロックでも二泊三日で、福岡、香岐へ、習志野ブロックでは、日帰りで3年前に好評だった都内でのミュージカル鑑賞を再企画し、今回も大人気で、参加枠を拡大し実施した。

昨年度、開始した、会員ならではのメリット提供を目的とした「会員交流クーポン」制度は継続実施。この制度を利用して、新顧客が増えたとの報告も寄せられている。

会員企業従業員向け「健診事業」は、例年通り10月と3月に計8回に亘り各地で予定通りに実施した。

会員向けの福利厚生制度(生損保の利用)は、保険各社と委員らによる推進連絡協議会を開催し、勉強会を行うと共に、尚一層の利用促進を図った。

7. ブロック・支部関係

千葉西税務署所管と同じ本会の活動地域を千葉市西部(美浜区北西部、花見川区西部)と千葉市北部(花見川区東部、稲毛区北東部)、習志野市(全域)、八千代市(全域)の4ブロックに分け、更に各ブロック内にそれぞれ8支部、合計32支部を置き、毎年、各ブロック・支部毎に実情に則った活動を続けている。選任された各ブロック委員会委員長、支部長(共に理事)が中心となり、必要に応じて、税務当局とも協同し、役員総会・役員会・委員会・研修会・厚生親睦事業をはじめとした法人会独自の活動を企画実施し、併せて組織強化のための会員増強運動も展開している。

8. 部会関係

税務・税法の研究/研修を目的とする「税法研究部会」、女性経営者・幹部社員の研鑽/交流を主目的とした「女性部会」、青年経営者・幹部の研鑽/交流を目的とする「青年部会」の3部会がそれぞれ独自の事業活動を行っている。各部会とも、4月の部会総会により決定した年度事業計画に沿って、事業展開した。

女性・青年両部会員により、夏休み前に行われた「租税教室」は、本年度も3市内の10小学校でそれぞれ実施され、その後、受講した児童を対象に女性部会が主催する「税に関する絵はがきコンクール」には、授業を行った全校からの応募があった。

また、税法研究部会では、源泉所得税やその他税制の定期研修会、年末調整説明会、新年度の税制改正説明会等を年度計画通り、実施することができた。

9. 女性部会、青年部会所管

「税知識普及事業・納税意識高揚事業及び社会貢献活動関係」

標記事業は、本会の重要な公益事業であり、当年度も女性部会と青年部会の協力の下、進められた。

女性部会では、11月「税を考える週間」での「街頭広報活動」(JR津田沼駅前)、12月「一日税務署長イベント」(千葉西税務署)に参加して、税知識普及・納税意識の高揚を図った。

平成20年から18年連続実施している「租税教室」は、女性部会・青年部会協同で、4~7月に管内の小学校10校で出張授業を実施し、両部会員24名が交代で講師を務め、合計24クラス、717名の児童が受講した。第10回目となった女性部会主催、「税に関する絵はがきコンクール」はその全10校から、542作品の応募があり、その中から優秀作品42点を表彰した。審査会には千葉西税務署長、千葉県千葉西県税事務所長らのご出席も仰ぎ、上位入賞者は11月「納税表彰式」にて保護者らの前での表彰を行った。全入賞作品をポスターにして、千葉西税務署・千葉県千葉西県税事務所の玄関脇やJR津田沼駅コンコースに展示した。また、本会広報誌/新年号やホームページへの掲載も行っている。

10. 今後の課題

法人会は、健全な納税者の団体として、かつ、税のオピニオンリーダーとして、会員相互の自己啓発を支援する一方で、公益団体として、地域の納税意識高揚に努め、地元に着目した事業を通して、会員・非会員を問わず、法人企業はもとより、広く一般の個人や社会にも貢献すべく様々な活動を行っている。その為の組織強化は大きな命題であり、限られた資金、時間、人的資源の中で、より有効で公平な活動を追及して行く。

法人会としての活動は、日々の環境変化に対応し、会員と一般社会の新たなニーズに合致した姿勢が求められている。多くの様々な意見を集約し、存在感ある、身近で、不可欠な団体として、また、当局と会員・地域社会とを結ぶ大切な任務を担って、引き続き前向きに活動を広げて参りたい。

令和7年度正味財産増減計算書(総括)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	備考
Ⅰ一般正味財産増減の部							
1.経常増減の部							
(1)経常収益							
①基本財産運用益	13,750	100	13,650	9,350	2,888	1,512	
②特定資産運用益	92,033	2,604	89,429	41,094	19,018	31,921	
③受取会費	24,447,000	24,836,000	△ 389,000	8,556,450	6,111,750	9,778,800	
④事業収益	4,243,159	4,736,272	△ 493,113	314,700	3,928,459	0	注1
⑤受取補助金等	17,783,500	16,998,740	784,760	16,376,500	684,600	722,400	注2
⑥受取負担金	598,800	779,800	△ 181,000	0	489,600	109,200	注3
⑦雑収益	881,735	944,430	△ 62,695	0	411,075	470,660	注4
【経常収益計】	48,059,977	48,297,946	△ 237,969	25,298,094	11,647,390	11,114,493	
(2)経常費用							
①事業費	43,860,562	42,690,065	1,170,497	29,559,523	14,301,039	0	注5
②管理費	8,578,739	8,195,769	382,970	0	0	8,578,739	注6
【経常費用計】	52,439,301	50,885,834	1,553,467	29,559,523	14,301,039	8,578,739	
当期経常増減額	△ 4,379,324	△ 2,587,888	△ 1,791,436	△ 4,261,429	△ 2,653,649	2,535,754	
2.経常外増減の部							
(1)経常外収益	0	0	0	0	0	0	
【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	0	0	0	
【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額(繰入前)	0			1,145,071	△ 1,211,572	66,501	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 4,379,324	△ 2,587,888	△ 1,791,436	△ 3,116,358	△ 3,865,221	2,602,255	
他会計振替額(繰入額)	0	0	0	136,994	△ 136,994	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,379,324	△ 2,587,888	△ 1,791,436	△ 2,979,364	△ 4,002,215	2,602,255	
法人税、住民税及び事業税	107,500	108,200	△ 700		107,500		
当期一般正味財産増減額	△ 4,486,824	△ 2,696,088	△ 1,790,736	△ 2,979,364	△ 4,109,715	2,602,255	
一般正味財産期首残高	87,702,894	90,398,982	△ 2,696,088	△ 5,016,802	3,332,426	89,387,270	
一般正味財産期末残高	83,216,070	87,702,894	△ 4,486,824	△ 7,996,166	△ 777,289	91,989,525	
Ⅱ指定正味財産増減の部							
受取補助金等	16,026,500	15,215,200	811,300	16,026,500	0	0	
一般正味財産への振替額	△ 16,026,500	△ 15,215,200	△ 811,300	△ 16,026,500			
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	
Ⅲ正味財産期末残高	83,216,070	87,702,894	△ 4,486,824	△ 7,996,166	△ 777,289	91,989,525	

* 事業費の管理費は、従事割合により配分しました。割合は、公益目的事業会計72.2%、収益事業等会計17.2%、法人会計(管理費)10.6%です。

* 事業費の公益事業比率は29,559,523円(公益目的事業会計経常費用の合計) / 52,439,301円(経常費用の合計) = 56.4%

- 注1 公益目的事業会計(全国大会等参加費180,200円、広報誌広告料収入80,000円、オンライン研修等受講料54,500円)、
収益事業等会計(健診手数料等636,089円、ゴルフ大会382,000円、保険料精算戻入384,770円、ブロック・支部事業2,166,700円、部会事業358,900円)
- 注2 公益目的事業会計(全法連助成金A16,026,500円、商工会議所助成金250,000円、県連補助金100,000円)、
収益事業等会計(助成金B:県連補助金343,600円、全法連補助金341,000円)、
法人会計(全法連助成金B350,000円、県連事業助成費372,400円)
- 注3 収益事業等会計(部会費)、法人会計(ブロック・支部等会議費会費)
- 注4 収益事業等会計(祝儀(ブロック、部会事業も含む)、ブロック報奨金等)
法人会計(受取利息、優申会手数料60,000円、県連表彰副賞150,000円、全法連表彰副賞200,000円等)
- 注5 公益目的事業会計(事業費:税制提言989,998円、研修相談1,964,572円、租税教育433,277円、税の広報5,044,495円、社会貢献1,168,173円、経営支援1,288,593円)、
管理費の公益目的事業従事割合分18,670,415円(給料手当、賃借料等)
収益事業等会計(事業費:福利厚生1,520円、会員増強1,142,766円、会員支援8,401,550円)、管理費の収益事業等従事割合分4,755,203円(給料手当、賃借料等)
- 注6 総会費、役員会費、ブロック・支部、部会等会議費、給料手当・賃借料・什器備品・車輛関係等の管理費従事割合分

貸借対照表(総括)

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
Ⅰ資産の部				
1.流動資産				
【流動資産合計】	21,026,756	20,258,766	767,990	
2.固定資産				
(1)基本財産	5,000,000	5,000,000	0	
(2)特定資産	31,707,080	37,752,687	△ 6,045,607	
(3)その他の固定資産	31,600,098	32,105,823	△ 505,725	
【固定資産合計】	68,307,178	74,858,510	△ 6,551,332	
資産合計	89,333,934	95,117,276	△ 5,783,342	
Ⅱ負債の部				
1.流動負債				
【流動負債合計】	290,364	379,082	△ 88,718	
2.固定負債				
【固定負債合計】	5,827,500	7,035,300	△ 1,207,800	
負債合計	6,117,864	7,414,382	△ 1,296,518	
Ⅲ正味財産の部				
1.指定正味財産				
全法連助成金	0	0	0	
【指定正味財産合計】	0	0	0	
2.一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	83,216,070	87,702,894	△ 4,486,824	
(うち特定資産への充当額)	5,000,000	5,000,000	0	
正味財産合計	31,707,080	37,752,687	△ 6,045,607	
負債・正味財産合計	83,216,070	87,702,894	△ 4,486,824	
負債・正味財産合計	89,333,934	95,117,276	△ 5,783,342	

財産目録

令和8年3月31日現在

(単位:円)


科目	金額	
Ⅰ資産の部		
1.流動資産		
現金	312,115	
普通預金	20,641,806	
前払金	72,835	
次年度事業費: 青年部会24,835円、女性部会48,000円		
【流動資産合計】	21,026,756	
2.固定資産		
(1)基本財産		
定期預金	5,000,000	
【基本財産合計】	5,000,000	
(2)特定資産		
特別事業引当資産	4,000,000	
部会周年事業引当資産	500,000	女性部会
	1,000,000	青年部会
減価償却引当資産	2,695,320	
建物減価償却引当資産	14,402,890	
退職給付引当資産	5,827,500	
ブロッコ支部活動引当資産	1,421,370	
修繕積立引当資産	360,000	
財政調整引当資産	1,500,000	
【特定資産合計】	31,707,080	
(3)その他の固定資産		
建物	28,590,810	
構築物	53,838	
什器備品	922,487	
電話加入権	232,963	
敷金・保証金	1,800,000	
【その他の固定資産合計】	31,600,098	
【固定資産合計】	68,307,178	
【資産合計】		89,333,934
Ⅱ負債の部		
1.流動負債		
源泉所得税預り金	1~3月分	50,864
社会保険預り金		0
未払法人税等		107,500
前受金	青年部会費10件 次年度事業参加費2件	132,000
【流動負債合計】		290,364
2.固定負債		
退職給付引当金		5,827,500
【固定負債合計】		5,827,500
【負債合計】		6,117,864
【正味財産合計】		83,216,070


監査報告書


令和8年4月17日


公益社団法人千葉西法人会
会長 吉田 茂雄 殿

公益社団法人千葉西法人会

監事 松内 恵子 

監事 中山 哲志 

監事 高山 貴子 

監事 須田 康男 

私ども監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務執行、計算書類および事業報告ならびにこれらの附属明細書を監査し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び同法124条に基づき、その方法および結果について次のとおり報告します。

1. 監査の方法およびその内容

私ども監事は、理事および事務局等との意思疎通による情報収集に努めるとともに、理事会等会議に出席し、理事および事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な関係書類を閲覧して業務および財産の状況を調査しました。

以上の方法にもとづき、当該事業年度に係る事業報告について検討するとともに、会計帳簿等資料の調査並びに現金、預金通帳等の実地調査を行い、計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）およびその附属明細書ならびに財産目録について、その適正性について検討しました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類およびその附属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

議案 第3号「役員を選任に関する件」

公益法人法(公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律)の改正に従い、
本会でも、「外部理事」「外部監事」を1名宛、選任する。

任期は、現理事・監事の改選時期に合わせ、来年の通常総会日迄とする。

公益社団法人千葉西法人会

令和8年度 役員[理事・監事]候補

【 任 期 : 令和8年6月5日 ~ 令和9年6月 】

理事 1 名 (外部理事)

松本 新太郎

*敬称略

理事 1 名 (外部監事)

内藤 和夫

※ 定款上の理事定数 40名以上70名以下、監事定数3名または4名

→ 選任後、令和8年度「役員」総数

理事56名(内、外部理事1名)、監事4名(内、外部監事1名) の計60名

報告事項(1) 令和8年度 事業計画に関する件

令和8年度事業計画

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

I 基本方針

法人会は善良な納税者の公益団体としてまた、税のオピニオンリーダーとして、企業の健全な発展を支援すると共に、正しい税知識の普及と納税意識の高揚並びに公正・中立でわかり易い税制の実現を提言し、併せて社会の健全な発展に貢献する為、より充実した事業活動を推進する。

II 重点事項

健全なる納税者の公益団体として、企業の発展に資する事業はもとより、税に伴う相互扶助の意識を高め、会員としての誇りを感じ取れる様、より広く地域社会へ貢献できる事業を併せて推進する。

又、税務・経営に関する実務研修事業と厚生親睦事業及び会員サービス事業の充実を図り、公益団体として会員及び社会の付託に応える組織作りに努めて行く。

さらに、事業を通じた会員増強運動を通年に亘り展開し、組織の強化拡充をはじめ、財務内容の改善を図る。

III 事業計画

1. 総務委員会関係

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| (1) 通常総会 | (8) <u>本会の機構及び関連人事、特に支部役員の強化</u> |
| (2) 理事会 | (9) <u>公益社団法人に関する諸事項の整備と調整</u> |
| (3) 監事会 | (10) <u>地域及び社会貢献活動の基本事項</u> |
| (4) 会長・副会長 | (11) <u>関係団体との連絡協調、その他渉外</u> |
| (5) その他必要な役員会及びブロック等の役員会 | (12) <u>総務委員会の開催</u> |
| (6) 功労者の表彰、退会、除名 | |
| (7) <u>本会の財務及び財産</u> | |

2. 組織委員会関係

- | | |
|---|-------------------------|
| (1) <u>組織強化及び活性化を図る活動及び支部等組織のあり方につき調査研究</u> | (4) <u>会員増強運動の功労者表彰</u> |
| (2) <u>会員増強統一月間の設置</u> | (5) <u>会費完納強化月間の推進</u> |
| (3) <u>未加入法人の勸奨活動(会員増強運動)の推進とその後のフォロー</u> | (6) <u>組織委員会の開催</u> |

3. 税制委員会関係

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| (1) <u>税制、税務に関する調査研究</u> | (4) <u>税制改正提言の国会議員・地方自治体への提出</u> |
| (2) <u>税制改正に関する意見・提言の取りまとめ</u> | (5) <u>資料等による税情報の提供活動</u> |
| (3) <u>法人会全国大会(税制改正への提言)への参加</u> | (6) <u>税制委員会の開催</u> |

4. 広報委員会関係

- | | |
|---|--------------------------------|
| (1) <u>広報体制の整備・拡充に関する調査研究企画(会員の相互理解、非会員への本会事業PR等)</u> | (5) <u>ホームページによる広報体制の整備</u> |
| (2) <u>千葉西法人会広報誌「ほうじん千葉西」の発行</u> | (6) <u>電子申告・納税システムの広報体制の整備</u> |
| (3) <u>全法連広報誌「季刊ほうじん」の配布</u> | (7) <u>広報委員会の開催</u> |
| (4) <u>税務、経理、経営等に関する参考資料の配布</u> | |

5. 研修委員会関係

- | | |
|--|-----------------------------|
| (1) 新設法人に対する税務研修会の開催 | (6) <u>ブロックの税務、経営研修会等開催</u> |
| (2) 決算法人に対する税務研修会の開催 | (7) 各部会の税務及び経営研修会等の開催 |
| (3) 税務及び経営研修会の開催 | (8) 無料税務相談(税理士会との協調事業)の実施 |
| (4) 各種講演会他研修会の開催 | (9) 無料法律相談(本会顧問弁護士による)の実施 |
| (5) 簿記、申告書作成、パソコン、 <u>インターネット講座等</u> の開催 | (10) 研修委員会の開催 |

6. 厚生委員会関係

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| (1) 法人会の経営者大型総合保障制度の推進 | (5) <u>福利厚生制度推進連絡協議会の開催</u> |
| (2) 経営者退職金制度及び個人年金制度の推進 | (6) <u>生活習慣病(成人病)健診の実施</u> |
| (3) がん保険制度及び医療保険制度の推進 | (7) <u>法人会会員の親睦交流事業の推進</u> |
| (4) ビジネスガードの推進 | (8) 厚生委員会の開催 |

7. ブロック・支部関係

管内のブロック及び各支部においては、役員会・税務等研修会・厚生親睦事業を中心に、本年度も引続き税の啓発活動並びに組織強化活動を推進する。また、活動が進みにくい支部においては、その実情を把握、点検し、若手含む役員拡充に努める一方、近隣支部との協同事業も視野に体制の整備を図る。

8. 部会関係

税法研究部会、女性部会及び青年部会とも、基本的に従前からの事業内容を継承し、その充実・発展を志向すると共に、会員相互の研鑽に努める。その上で、税法研究部会は研修会等での署との連携を維持・強化し、女性部会は「租税教室」の延長事業としての「税に関する絵はがきコンクール」を継続実施する。また、青年部会は、部会員及び地域の若手経営者の研修・交流強化を更に推進する一方、「租税教室」等公益事業に資する活動にも注力する。

9. 税知識普及事業・納税意識高揚事業及び社会貢献活動関係

税知識の普及事業・納税意識の高揚事業及び社会貢献活動の一環として、千葉西税務署・関係諸団体と協調し、11月『税の街頭広報』には女性部会中心に参加し、納税への関心、興味を引出す活動を継続する。開始19年目となる『租税教室』は女性部会と青年部会とのコラボ事業として、また、「第11回税に関する絵はがきコンクール」は女性部会独自の事業として継続実施する。これらについては、法人会本体からも支援を継続して行く。

10. その他の事業関係

- (1) 全法連関連事業への出席
- (2) 県法連関連事業への出席
- (3) 千葉西税務懇和会の関連事務及び事業への出席
- (4) 千葉西優申会の関連事務及び事業への出席

IV 令和8年度事業内容表

事業	年月	令和8年										令和9年			備考		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
役員会・委員会等	第50回通常総会			○													6/5(金) ホテルグリーンタワー幕張
	理事会	○														○	4/21(火) ホテル ザ・マンハッタン
	監事会	○															
	会長・副会長会議	○			○					○						○	
	総務委員会				○					○						○	
	組織委員会			○		○					○						
	税制委員会			○		○											
	広報委員会		○	○		○			○	○					○	○	
	研修委員会					○			○					○			
	厚生委員会					○			○								
	全役員大会								○								9/1(火)各委員会・部会からの活動方針発表、署長講話(予定)
	納税表彰式									○							税務署、税務協力6団体の共催
	新春賀詞交歓会													○			税務協力6団体の共催
福利厚生制度推進連絡協議会								○								大同生命保険、AIG損保、アフラック生命との協調事業	
広報	法人会広報誌「ほうじん千葉西」	○				○			○								定期発行
	全法連広報誌「季刊 ほうじん」	○			○				○								季刊・年間4回発行
	税制・税務情報小冊子	○			○												改正税制情報の速報版及びあらまし
	ホームページでの事業予定表	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	法人会関連事業の予定表
	ホームページ整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	法人会の概要及び情報開示
研修会・説明会等	新設法人説明会	○				○			○							○	署・法人会・税理士会の協調事業
	決算法人説明会	○		○		○	○		○							○	署・法人会・税理士会の協調事業
	改正税制説明会等			○													6月、4ブロックで開催
	法人税申告書作成1日研修会									○							受講料無料
	簿記研修会			○						○							受講料実費
	パソコン研修	○			○					○	○						受講料実費(オンライン研修)
	その他研修会	←															研修委員会所管で随時開催(含、オンライン研修)
	税の無料相談(毎月2回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	税理士会との協調
	法律の無料相談(随時)	←															法人会顧問弁護士との協調
福利厚生	経営者大型総合保障制度	←															随時
	経営者退職金制度等	←															随時
	がん保険制度	←															随時
	生活習慣病(成人病)健診										○						○
	その他厚生親睦事業	←															随時
支部等	【ブロック】																
	役員総会・役員会・正副B長等		○							○						○	4ブロックで個々に開催
	研修会・厚生事業	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	4ブロックで個々に開催
	法人会員増強運動推進	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	年間通し推進(9/1-12/31の4ヶ月強化月間)
	【支部】																
	役員会・他支部合同研修会等	←															各支部で随時開催
法人会員増強運動推進	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	年間通し推進(9/1-12/31の4ヶ月強化月間)	
会費完納強化月間の推進															○	○	2/1~3/10の1ヶ月強、強化月間
部会	税法研究部会	○		○		○	○	○	○							○	部会員数: 143社
	女性部会	○		○				○	○	○						○	部会員数: 45名
	青年部会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	部会員数: 25名
税知識の普及活動及び社会貢献活動	○	○	○	○	○			○	○							○	①4-7月~租税教室 ②税に関する絵はがきコンクール ③2月法人会フォーラム 他
年間法人会員増加運動推進	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	年間ベースでの各年末、年度末時点での法人会員数増加
全法連・県法連	法人会全国大会(10/8)									○							法人会正副会長等関連(茨城大会)
	全国女性フォーラム(4/16)	○															女性部会関連(埼玉大会)
	全国青年の集い(11/19)										○						青年部会関連(島根大会)
	全法連税制委員セミナー															○	法人会役員及び税制委員会関連
	国税局管内役職員研修会											○					法人会役職員関連
	県法連総会・役員大会(6/22)			○													法人会役員関連
	県法連各委員会	○		○		○	○									○	各委員長関連
	県法連 税制セミナー															○	法人会役員及び税制委員会関連
	県法連事務局長会議					○	○									○	法人会事務局長及び専務理事関連
関連団体	千葉西税務懇和会	○		○	○			○				○	○				税務協力6団体で構成
	千葉西優申会	○		○				○								○	署から表彰を受けた者の団体
	千葉西彰友会							○									署から表彰を受けた者の団体
	管内3市の租税教育推進協議会		○	○								○					教育関係者による租税教育推進団体

報告事項(2) 令和8年度 収支予算に関する件

令和8年度収支予算書(総括)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	備考
Ⅱ一般正味財産増減の部							
1.経常増減の部							
(1)経常収益							
基本財産運用益	13,700	10,000	3,700	9,330	2,870	1,500	
特定資産運用益	70,900	34,000	36,900	30,000	10,900	30,000	
受取会費	23,930,000	24,210,000	△ 280,000	8,375,500	5,982,500	9,572,000	
事業収益	4,377,800	4,267,800	110,000	495,800	3,882,000	0	注1
受取補助金等	18,145,540	17,442,500	703,040	17,024,800	349,900	770,840	注2
受取負担金	672,000	684,800	△ 12,800	0	472,000	200,000	注3
雑収益	247,000	157,000	90,000		150,000	97,000	注4
【経常収益計】	47,456,940	46,806,100	650,840	25,935,430	10,850,170	10,671,340	
(2)経常費用							
事業費	46,716,640	51,150,933	△ 4,434,293	31,540,224	15,176,416	0	注5
管理費	8,315,200	10,151,267	△ 1,836,067	0		8,315,200	注6
【経常費用計】	55,031,840	61,302,200	△ 6,270,360	31,540,224	15,176,416	8,315,200	
当期経常増減額	△ 7,574,900	△ 14,496,100	6,921,200	△ 5,604,794	△ 4,326,246	2,356,140	
2.経常外増減の部							
(1)経常外収益	0	0	0				
【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0				
【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	
法人税・住民税及び事業税	130,000	130,000	0		130,000		
当期一般正味財産増減額	△ 7,704,900	△ 14,626,100	6,921,200	△ 5,604,794	△ 4,456,246	2,356,140	
一般正味財産期首残高	83,216,070	87,702,894	△ 4,486,824				
一般正味財産期末残高	75,511,170	73,076,794	2,434,376				
Ⅲ指定正味財産増減の部							
受取補助金等	16,674,800	16,026,500	648,300	16,674,800			
一般正味財産への振替額	△ 16,674,800	△ 16,026,500	△ 648,300	△ 16,674,800			
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0			
指定正味財産期首残高	0	0	0	0			
指定正味財産期末残高	0	0	0	0			
Ⅳ正味財産期末残高							
正味財産期末残高	75,511,170	73,076,794	2,434,376				

- * 事業費の中の管理費は、従事割合により配分しました。予定割合は、公益目的事業会計71.9%、収益事業等会計18.6%、法人会計(管理費)9.5%です。
- * 公益目的事業比率=31,540,224円(公益目的事業会計経常費用の合計額)÷55,031,840円(経常費用の合計額)=57.3%
- * 大科目間の予算修正は理事会の承認を要します。

- 注1 公益目的事業会計(全国大会等参加費、研修受講料、広報誌広告料収入)、収益事業等会計(健診手数料、ブロック支部事業収入、部会事業収入 等)
- 注2 公益目的事業会計(全法連からの助成金A 16,674,800円、絵葉書コンクール助成金100,000円、商工会議所助成金250,000円)、
収益事業等会計(県連から助成金B追加分349,900円)、
法人会計(全法連助成金B400,000円、県連補助金370,840円)
- 注3 収益事業等会計(部会費、事業後交流会費収入)、法人会計(会議・役員会等会費収入)
- 注4 収益事業等会計(交流会等祝儀、部会、ブロック支部雑収入 等)、法人会計(受取利息、優申会手数料 等)
- 注5 公益目的事業会計(事業費:税制提言544,000円、研修相談2,701,000円、租税教育389,000円、税の広報5,616,000円、社会貢献1,220,000円、経営支援1,691,000円)、
管理費の公益目的事業従事割合分19,379,224円(給料手当、賃借料等)
収益事業等会計(事業費:福利厚生22,000円、会員増強863,500円、会員支援9,179,000円)、管理費の収益事業等従事割合分5,111,916円(給料手当、賃借料等)
- 注6 総会費、役員会費、ブロック支部、部会等会議費、給料手当・賃借料・什器備品・車輛関係費等の管理費従事割合分

特定資産資金計画表

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科目名	予算額	前年度予算額	増減	備考
1.特定資産取崩収入				
減価償却引当資産取崩収入	0	640,500	△ 640,500	会員管理システム改修(前年度)
退職給付引当資産取崩収入	0	1,466,800	△ 1,466,800	
修繕積立引当資産取崩収入	360,000	5,560,000	△ 5,200,000	会館建物修繕(追加支払分)
部会周年事業引当資産取崩収入	1,000,000	0	1,000,000	青年部会40周年事業
ブロック・支部活動引当資産取崩収入	300,000	300,000	0	
【取崩収入計】	1,660,000	7,967,300	△ 6,307,300	
1.特定資産取得支出				
特別事業引当資産取得支出	1,000,000	1,000,000	0	本部50周年事業引当資産として積立
部会周年事業引当資産取得支出	200,000	200,000	0	部会周年事業引当資産として積立 女性部会100,000円、 青年部会100,000円
減価償却引当資産取得支出	296,000	297,000	△ 1,000	減価償却引当資産として積立
建物減価償却引当資産取得支出	860,000	860,000	0	建物減価償却引当資産として積立
退職給付引当資産取得支出	259,000	259,000	0	退職給付引当資産として積立
ブロック・支部活動引当資産取得支出	0	0	0	
修繕積立引当資産取得支出	700,000	360,000	340,000	修繕積立引当資産として積立
【取得支出計】	3,315,000	2,976,000	339,000	
【収支差額】	△ 1,655,000	4,991,300	△ 6,646,300	

資金調達及び設備投資の見込みについて

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

1.資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

2.設備投資の見込みについて

当期中における設備投資の予定はありません。